

HC - 2006 - 09

2007.1.25

阪急西宮スタジアム跡地開発計画

「(仮称)阪急西宮ショッピングセンター」の核テナントにイズミヤが決まりました

阪急電鉄が、阪急西宮スタジアム跡地（兵庫県西宮市）で開発を進めております「(仮称)阪急西宮ショッピングセンター」の核となる、総合スーパー業態（GMS）テナントに「イズミヤ」の出店が決定いたしました。

これにより、同ショッピングセンターにおいては、既にお知らせしております、「阪急百貨店」とTOHOシネマズおよびオーエスの共同経営による「シネマコンプレックス」に、この「イズミヤ」を加え、すべての核テナントが出揃うことになりました。

なお、「(仮称)阪急西宮ショッピングセンター」の現時点における、核テナントならびに同施設の全体概要、今後のスケジュールは次のとおりです。

1. 核テナントについて

総合スーパー（今回決定分）

出店者名	イズミヤ株式会社
会社設立	1952年4月
社長	林 紀男
本社	大阪市西成区花園南1-4-4
売場面積	約11,500㎡（3フロア）
事業内容	衣料品、食料品、日用雑貨を中心とした大型総合小売店

百貨店（既発表分）

出店者名	株式会社阪急百貨店
売場面積	約25,000㎡（4フロア）
事業内容	阪神間山手マーケットにマッチした都市型百貨店

シネマコンプレックス（既発表分）

出店者名	TOHOシネマズ株式会社	オーエス株式会社
施設規模	12スクリーン（合計約2,200席）	
事業内容	関西で最大級のスクリーン数・客席数を持つシネマコンプレックスを上記の2社で共同経営	

2. 「(仮称) 阪急西宮ショッピングセンター」について

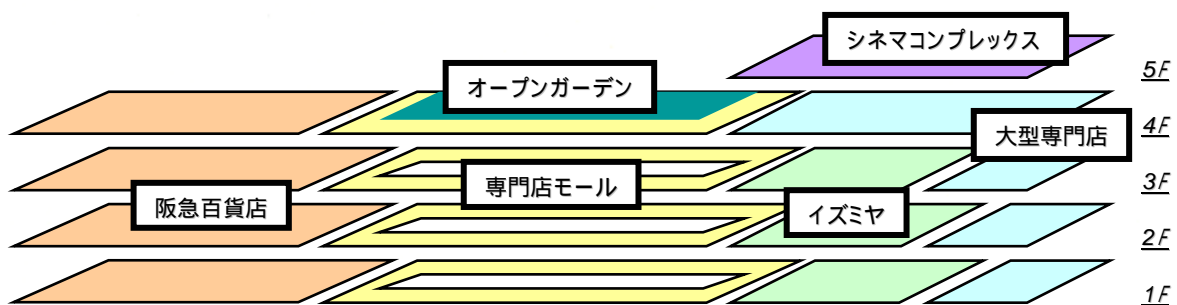
施設概要

阪神間の鉄道や道路の結節点であり、かつ、西宮市、芦屋市、宝塚市、神戸市東灘区などに代表される山手住宅街といったポテンシャルの高い立地特性を活かし、これら広域なエリアを商圈とした、上質で都市的な新しいライフスタイルを提案する日本最大級のショッピングセンターを目指しています。

また、その核には「阪急百貨店」とTOHOシネマズ・オーエスによる「シネマコンプレックス」、
「イズミヤ」の3テナントを据え、これら核テナントと専門店をあわせて約250店舗の誘致を予定しています。

所在地	兵庫県西宮市高松町100番地
アクセス	阪急電鉄「西宮北口駅」より徒歩3分 (同駅とショッピングセンターは歩行者デッキで結ぶ予定)
建物階層	地上4階建、一部5階建(立体駐車場を除く)
敷地面積	約71,000㎡
建築面積	約54,000㎡
延べ床面積	約245,000㎡
賃貸面積	約100,000㎡
核テナント	3店舗(阪急百貨店、シネマコンプレックス、イズミヤ)
専門店数	約250店舗(このうち大型専門道を5店舗程度誘致する予定)
駐車場	約3,000台

フロアイメージ



阪急百貨店とイズミヤ、シネマコンプレックスを、多彩な専門店が並ぶ環状のモール(1周:約400m)で結びます。また、周辺環境との調和を図るため、屋上部分に商業空間と有機的に結合するオープンガーデンを設け、さらに、施設の一部外壁面を緑化いたします。このほか、施設内の巨大な吹き抜け空間を通して、自然光を感じることができるインナーモールの設置など、建物の内外でオープンスペースの創出や緑化に努め、お買い物のお客様のみならず、地域にお住まいの方々にも憩いと賑わいのある快適な空間を提供します。

施設計画図



「(仮称)阪急西宮ショッピングセンター」の建設にあたっては、緑地帯や道路、歩道状空地などの外構整備もあわせて行い、周辺の住環境を損なうことなく、まちの顔にふさわしい良好な都市景観と市街地の形成に貢献してまいります。

地区内道路を新設

都市計画道路・球場前線と都市計画道路・北口線の交差部から、県道・西宮豊中線へと通じる道路を新設し、地域の方々の利便性向上と自動車利用者の分散を図ります。

都市計画道路・北口線の拡幅整備

敷地に面する都市計画道路・北口線の拡幅整備を行います。

歩道状空地の整備

敷地外周部(一部を除く)に歩道状空地を整備し、道路上の歩道と一体となった安全で快適な歩行者空間を設けます。

緑地の整備

新設道路北側に、整備面積約4,600㎡の緑地を整備します。この緑地は、地区内のアメニティ空間として、また、周辺の住宅地への緩衝帯として機能します。

開発スケジュール

関係機関などとの協議により当初の開発スケジュールを変更しております。また、本件は大規模な開発計画であることから、あらためて開発スケジュールが変更となる可能性もあります。

2007年 夏 本体工事着工 (予定)

2008年 秋 開業 (予定)

周辺整備などの関連工事につきましては、関係機関との協議が整い次第、2007年春以降に順次着工の予定です。

当初計画(ご参考) 2006年度下期 着工(目標) 2007年度下期 開業(目標) (2005年11月4日発表時点)

以上